



事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価	
										対象鳥獣	被害金額(万円)				被害面積(ha)						
											基準値	目標値	実績値	達成率	基準値	目標値	実績値				達成率
西和賀町有畜鳥獣駆除連絡協議会	西和賀町	令和2～令和4年度	ハブビシ ツキノワグマ ノウサギ タヌキ カラス ニホンジカ イノシシ	被害防除 防除設備の導入 R3 3台 R4 3台  広域監視 R2 2回 R3 2回 R4 2回 告知端末放送 R2 2回 R3 3回 R4 1回	防除設備設置(設置回数) R3 3回 R4 3回 年々、出足・被害報告が増加しており、防除設備による連携を実施した。農林水産物の被害を最小限に抑えることができた。  主にクマの出足情報や、注意喚起を実施。町民一人一人にクマの危険性を意識づけることができた。	西和賀町有畜鳥獣駆除連絡協議会	(R3年度)R3.7.5～ (R4年度)R4.7.11～		防除設備設置(設置回数) R3 3回 R4 3回 年々、出足・被害報告が増加しており、防除設備による連携を実施した。農林水産物の被害を最小限に抑えることができた。  主にクマの出足情報や、注意喚起を実施。町民一人一人にクマの危険性を意識づけることができた。	ハブビシ	12.70	12.70	0.00	-	0.01	0.01	0.00	-	【被害防止計画(R1-R4)全般】 鳥獣(カラス等)や小型獣(タヌキ等)による被害(金額・面積)は、実施隊等による有畜被害や被害(有畜被害)において、捕獲の(くわ)や罠による被害は減少した。大型獣は、ニホンジカ・カモシカ・ツキノワグマの被害は年々減少傾向にあるが、イノシシの被害(金額・面積)ともに拡大しており令和3年度は過去最高の被害金額・面積となった。 改善計画に基づき、捕獲の(くわ)や罠等を随時購入し、被害が拡大している地域を中心に効果的な捕獲の実施に取り組んだことや、狩猟者向けの捕獲技術向上研修の実施により効果的な捕獲技術が向上したことから、大型の捕獲頭数は年々増加しており、小型獣(タヌキ、ハブビシ、キツネ)を除き目標達成となった。 R4年度にICTを活用した導入し捕獲作業の省力化を図ることができた。今後も新技術等への導入も積極的に進め捕獲体制の充実を図り、侵入防止網の設置地域も拡大し、より一層の被害防除対策に取り組んでいく。なお、減少傾向にある獣種においても被害は依然として多いため、積極的な事業を実施し、関係者(団体)及び住民への情報提供や啓発も併せて行っていく。  【整備事業(侵入防止網設置)】 実施隊等による有畜鳥獣の捕獲一捕獲数は年々増加傾向にあり実績がでていく。捕獲者の負担を軽減するための、周知活動や支援策を積極的に行っていく。	西和賀町は、面積の約90パーセントが森林であり豊かな自然を有している。また、県内数々の豪雪地としても知られる。そのような環境の中、これまで西和賀町には生息していなかったイノシシの被害が、近年確認されるようになり、現在では、町内全域で被害が報告されるようになり深刻な問題となっている。しかしながら、イノシシの捕獲活動については、狩猟者(猟友会)の経験が深いため、習得している状況である。また、ツキノワグマの自覚情報や被害についても、年々、増加傾向にあり、農作物被害や人身被害も起きている状況である。これらのことから、これまで行ってきた「防除設備の設置」や「有畜被害」といった対策に頼るのではなく、町民一人一人が自分の土地は自分で守るという意識を持ち、自ら「対策(電気柵の設置等)を行っていく必要がある」と考える。また、狩猟者(猟友会)の高齢化や会員減少に伴い、会員の負担も増加していることから、若い世代へ狩猟技術を継承していただくための体制づくりが必要である。西和賀町の広大な土地を猟友会がすべてカバーできるわけではない。有畜鳥獣の問題は西和賀町のみならず、全国的、あるいは全国的な対策が重要である。今後有効な被害防除対策を実施し、西和賀町から様々な情報を発信していきたいと考えている。  (鳥獣保護道員 藤原 伸也)	【達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、防除設備の設置や注意喚起のための広報活動を実施している。防除設備による被害の発生や被害の発生により、ツキノワグマによる農作物被害が減少しているものの、イノシシについては被害金額、被害面積ともに増加している。今後、当該地域においてもイノシシによる農作物被害が拡大していくことが懸念されることから、関係者(団体)との連携強化やイノシシの捕獲技術向上や地域住民へのイノシシ被害防除対策の周知を推進する必要がある。県では、引き続き本協議会の被害防止計画に基づき取り組みを支援するとともに、新たな設置した施設やチームにより、効果的な被害防止技術の実証・普及や、県内・全国の優良事例の情報提供等の支援を行っていく。
										合計	308.60	198.00	62.51	22.3	4.78	3.37	3.50	91			
平泉町鳥獣被害防止協議会(再評価)	平泉町	令和2～令和4年度	カラス、スズメ、ヒヨドリ、ササギ、タヌキ、ハブビシ、キツネ、ニホンジカ・カモシカ、イノシシ、ツキノワグマ	有害捕獲 R1:くわ 20基 R2:くわ 22基 小型動物用罠約28基 R3:くわ 100基 小型動物用罠約20基 大型動物用罠約1基 大型動物捕獲技術向上研修(R4.3.19開催) R4:くわ 75基 大型動物用罠約1基 イノシシ・ニホンジカの捕獲技術向上研修(R4.11.20開催) ワケ動物通知システム導入(観望1台、子機7台)	くわ(わ)及び(くわ)や(くわ)は、実施隊の有害捕獲(主:イノシシ、ニホンジカ)に有効活用し、多くの捕獲実績をあげた。また、狩猟者向けの捕獲技術向上研修を実施し効果的な捕獲技術の習得の一助となった。  電柵設置後において、当該地域から追加の被害発生報告は無く、大型有畜獣(主:イノシシ、ニホンジカ)の被害を防止できた。  年々実施隊等の捕獲実績が上がっており、農作物被害が抑制できている。特に、イノシシ・ニホンジカ等が大型の大型獣の捕獲に重点的に取り組みに重点的に取り組みを行っている。	平泉町鳥獣被害防止対策協議会	(R3年度)R3.7.5～ (R4年度)R4.7.11～		くわ(わ)及び(くわ)や(くわ)は、実施隊の有害捕獲(主:イノシシ、ニホンジカ)に有効活用し、多くの捕獲実績をあげた。また、狩猟者向けの捕獲技術向上研修を実施し効果的な捕獲技術の習得の一助となった。  電柵設置後において、当該地域から追加の被害発生報告は無く、大型有畜獣(主:イノシシ、ニホンジカ)の被害を防止できた。  年々実施隊等の捕獲実績が上がっており、農作物被害が抑制できている。特に、イノシシ・ニホンジカ等が大型の大型獣の捕獲に重点的に取り組みに重点的に取り組みを行っている。	カラス、スズメ、ヒヨドリ、ササギ	12.00	9.60	0.60	47.5	0.110	0.080	0.010	333	【被害防止計画(R1-R4)全般】 鳥獣(カラス等)や小型獣(タヌキ等)による被害(金額・面積)は、実施隊等による有畜被害や被害(有畜被害)において、捕獲の(くわ)や罠による被害は減少した。大型獣は、ニホンジカ・カモシカ・ツキノワグマの被害は年々減少傾向にあるが、イノシシの被害(金額・面積)ともに拡大しており令和3年度は過去最高の被害金額・面積となった。 改善計画に基づき、捕獲の(くわ)や罠等を随時購入し、被害が拡大している地域を中心に効果的な捕獲の実施に取り組んだことや、狩猟者向けの捕獲技術向上研修の実施により効果的な捕獲技術が向上したことから、大型の捕獲頭数は年々増加しており、小型獣(タヌキ、ハブビシ、キツネ)を除き目標達成となった。 R4年度にICTを活用した導入し捕獲作業の省力化を図ることができた。今後も新技術等への導入も積極的に進め捕獲体制の充実を図り、侵入防止網の設置地域も拡大し、より一層の被害防除対策に取り組んでいく。なお、減少傾向にある獣種においても被害は依然として多いため、積極的な事業を実施し、関係者(団体)及び住民への情報提供や啓発も併せて行っていく。  【整備事業(侵入防止網設置)】 実施隊等による有畜鳥獣の捕獲一捕獲数は年々増加傾向にあり実績がでていく。捕獲者の負担を軽減するための、周知活動や支援策を積極的に行っていく。	【達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電柵の設置、各種の活用及び生息状況調査等を実施している。鳥獣被害金額やニホンジカの捕獲頭数が減少していることから、関係者(団体)との連携強化やイノシシの捕獲技術向上や地域住民へのイノシシ被害防除対策の周知を推進する必要がある。県では、引き続き本協議会の被害防止計画に基づき取り組みを支援するとともに、新たな設置した施設やチームにより、効果的な被害防止技術の実証・普及や、県内・全国の優良事例の情報提供等の支援を行っていく。	
										合計	1,583.80	1,266.98	1,093.60	155	11.94	9.54	7.76	174			
遠野地方有畜鳥獣駆除協議会	遠野市	令和2～令和4年度	ニホンジカ ツキノワグマ イノシシ	緊急捕獲活動支援事業 ニホンジカ R2:2,225頭 R3:2,586頭 R4:2,437頭 (市町村別含む) R2:2,371頭 R3:2,784頭 R4:2,611頭 計 7,766頭  電柵 R2:3.8km R3:2.2km R4:1.75km 金網 R4:2.4km  くわ(わ)の購入 R2:61基 R3:180基 R4:0基 電気止め柵 R4:6回 一斉捕獲 R2:126人 R3:124人 R4:128人 ハトロール R2:40回  被害防除 被害状況調査 R2:1回 R3:1回 R4:1回  生息状況調査 生息状況調査 R4:1回	遠野市鳥獣被害対策実施隊とニホンジカ捕獲隊による捕獲活動を推進し、捕獲数の増加に努めた。  水櫃、飼料作物等の農作物被害の軽減が図られた。  くわ(わ)の貸し出し等により、捕獲数の増加につながった。  アンケート式の被害状況調査を行い、市内の農作物被害の被害状況の把握に努めた。	遠野市	(R3年度)R3.7.5～ (R4年度)R4.7.11～		遠野市は、鳥獣被害の中では特にニホンジカによる被害が多く、最も問題であるとされている。その状況下で、ニホンジカの捕獲頭数は県内でも最も多い一方で、被害金額も増加傾向にあり、被害の発生が深刻な状況にある。今後、様々な有畜被害等の活動を増やし、農作物被害を拡大させないように減少させていきたいと考えている。また、市北部においては、10年間で約19倍に増加している調査結果が得られた。このことから、関係者(団体)及び住民への情報提供や啓発も併せて行っていく。  【整備事業(侵入防止網設置)】 実施隊等による有畜鳥獣の捕獲一捕獲数は年々増加傾向にあり実績がでていく。捕獲者の負担を軽減するための、周知活動や支援策を積極的に行っていく。	【未達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電柵の設置、各種の活用及び生息状況調査等を実施している。鳥獣被害金額やニホンジカの捕獲頭数が減少していることから、関係者(団体)との連携強化やイノシシの捕獲技術向上や地域住民へのイノシシ被害防除対策の周知を推進する必要がある。県では、引き続き本協議会の被害防止計画に基づき取り組みを支援するとともに、新たな設置した施設やチームにより、効果的な被害防止技術の実証・普及や、県内・全国の優良事例の情報提供等の支援を行っていく。											
											合計	9,295.70	8,828.00	10,592.00	▲277	324.90	308.60	94.90	1411		
釜石地区鳥獣対策協議会	釜石市	令和2～令和4年度	ニホンジカ ツキノワグマ イノシシ ハブビシ ノウサギ タヌキ カラス ニホンジカ イノシシ	緊急捕獲活動 ニホンジカ R2:1,201頭 R3:1,467頭 R4:1,756頭  鳥獣被害防止施設 電柵と金網柵の複合柵 R2:815m R3:560m R4:1,897m  有害捕獲 ●生息状況調査 ニホンジカ R2:1回 ニホンジカ R3:1回 R4:1回 ●イノシシ・ニホンジカ用保虫剤 鼻くわ R2:3回 R3:2回 足錠 R3:2回 ●イノシシ・ニホンジカ用ワケ R3:3回 R4:1回  被害防除 サル行動観察 R2:1回(GPS) R3:1回(LT) R4:1回(GPS)  イノシシ被害防止対策研修会 R4:2回  生息環境管理 放棄果樹の伐採 R2:100本 R3:35本 R4:44本  サル総合対策 ハトロール活動 R2:116回 R3:84回 R4:104回	ニホンジカの捕獲数は、市単独での加算金を導入した効果もあり、年々増加した。それに伴い農産被害も減少した。 イノシシによる農産被害防止のため、R2年度は青ノ木地区に複合柵(3戸)を設置。R3年度は野野地区に複合柵(4戸)設置。R4年度は野野地区に複合柵(14戸)設置した。設置後、ニホンジカによる被害は減少し、イノシシによる被害も確認されていない。 ニホンジカの生息域やツキノワグマの出足等の解析結果をもとに、出足抑制効果の高い場所を特定し、誘引柵などの対策を実施した。その結果、ニホンジカとツキノワグマは共に、出足場所が明らかに変化し、一定の抑制効果が見られた。イノシシの捕獲数が増えていることから、安全に捕獲するための保虫剤を購入した。イノシシでの利用実績はないが、ニホンジカの捕獲では、より安全に止められた。イノシシが、里周辺でも目撃されるようになったことから、箱ワケでの捕獲を実施した。イノシシの捕獲実績はないが、ニホンジカの捕獲は、R4年度に8頭となった。  GPSの装着により、被害防止対策の成果によるニホンジカの群れの行動域の変化を知ることができた。また、量を下りてきた罠の古い罠など、群れの位置の把握するうえで役立つ。 イノシシが市内各所で目撃されるようになり、捕獲数も増えてきたため、目撃地付近での住民を対象としたイノシシ対策研修会を2地区で開催し、イノシシ被害防止対策への理解を深めた。  ツキノワグマやニホンジカだけでなく、ハブビシやニホンジカの餌にもなる放棄果樹の伐採を進めた。その結果、ニホンジカやツキノワグマの出足場所が変化してきた。  ニホンジカが、サルハトロールの際に夏田地区に接近した際に、強い吠えや強い上げなどを行い、サルへの被害を抑制した。	釜石市地区鳥獣対策協議会	(R3年度)R3.7.5～ (R4年度)R4.7.11～		ニホンジカの捕獲数は、市単独での加算金を導入した効果もあり、年々増加した。それに伴い農産被害も減少した。 イノシシによる農産被害防止のため、R2年度は青ノ木地区に複合柵(3戸)を設置。R3年度は野野地区に複合柵(4戸)設置。R4年度は野野地区に複合柵(14戸)設置した。設置後、ニホンジカによる被害は減少し、イノシシによる被害も確認されていない。 ニホンジカの生息域やツキノワグマの出足等の解析結果をもとに、出足抑制効果の高い場所を特定し、誘引柵などの対策を実施した。その結果、ニホンジカとツキノワグマは共に、出足場所が明らかに変化し、一定の抑制効果が見られた。イノシシの捕獲数が増えていることから、安全に捕獲するための保虫剤を購入した。イノシシでの利用実績はないが、ニホンジカの捕獲では、より安全に止められた。イノシシが、里周辺でも目撃されるようになったことから、箱ワケでの捕獲を実施した。イノシシの捕獲実績はないが、ニホンジカの捕獲は、R4年度に8頭となった。  GPSの装着により、被害防止対策の成果によるニホンジカの群れの行動域の変化を知ることができた。また、量を下りてきた罠の古い罠など、群れの位置の把握するうえで役立つ。 イノシシが市内各所で目撃されるようになり、捕獲数も増えてきたため、目撃地付近での住民を対象としたイノシシ対策研修会を2地区で開催し、イノシシ被害防止対策への理解を深めた。  ツキノワグマやニホンジカだけでなく、ハブビシやニホンジカの餌にもなる放棄果樹の伐採を進めた。その結果、ニホンジカやツキノワグマの出足場所が変化してきた。  ニホンジカが、サルハトロールの際に夏田地区に接近した際に、強い吠えや強い上げなどを行い、サルへの被害を抑制した。	R1	R4	R4	164	19.74	17.39	16.97	118	【被害防止計画(R1-R4)全般】 鳥獣(カラス等)や小型獣(タヌキ等)による被害(金額・面積)は、実施隊等による有畜被害や被害(有畜被害)において、捕獲の(くわ)や罠による被害は減少した。大型獣は、ニホンジカ・カモシカ・ツキノワグマの被害は年々減少傾向にあるが、イノシシの被害(金額・面積)ともに拡大しており令和3年度は過去最高の被害金額・面積となった。 改善計画に基づき、捕獲の(くわ)や罠等を随時購入し、被害が拡大している地域を中心に効果的な捕獲の実施に取り組んだことや、狩猟者向けの捕獲技術向上研修の実施により効果的な捕獲技術が向上したことから、大型の捕獲頭数は年々増加しており、小型獣(タヌキ、ハブビシ、キツネ)を除き目標達成となった。 R4年度にICTを活用した導入し捕獲作業の省力化を図ることができた。今後も新技術等への導入も積極的に進め捕獲体制の充実を図り、侵入防止網の設置地域も拡大し、より一層の被害防除対策に取り組んでいく。なお、減少傾向にある獣種においても被害は依然として多いため、積極的な事業を実施し、関係者(団体)及び住民への情報提供や啓発も併せて行っていく。  【整備事業(侵入防止網設置)】 実施隊等による有畜鳥獣の捕獲一捕獲数は年々増加傾向にあり実績がでていく。捕獲者の負担を軽減するための、周知活動や支援策を積極的に行っていく。	【達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電柵の設置、各種の活用及び生息状況調査等を実施している。鳥獣被害金額やニホンジカの捕獲頭数が減少していることから、関係者(団体)との連携強化やイノシシの捕獲技術向上や地域住民へのイノシシ被害防除対策の周知を推進する必要がある。県では、引き続き本協議会の被害防止計画に基づき取り組みを支援するとともに、新たな設置した施設やチームにより、効果的な被害防止技術の実証・普及や、県内・全国の優良事例の情報提供等の支援を行っていく。		
										合計	2,224.50	1,940.30	1,191.60	363	22.55	19.81	17.14			197	

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用年数	被害防止計画の目標と実績												事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価																							
									被害金額(万円)				被害面積(ha)				被害頭数(頭)																													
									対象鳥獣	基準値	目標値	実績値	達成率	基準値	目標値	実績値	達成率	基準値	目標値	実績値				達成率																						
大船渡市鳥獣被害対策協議会	大船渡市	令和2～令和4年度	ニホンジカ カモシカ ツキノワグマ イノシシ サル タヌキ アナグマ スズメ、カラス、カワウ、モグラ、キツネ	①有害捕獲	①シカ捕獲数…R2:1,200頭 R3:1,348頭 R4:1,372頭	④大船渡市	④R2～R3～R4	④市単独事業により、農業者が設置する防護網の配布(一部負担金あり)を行い、農作物被害の減少に繋がった。	④R2～R3～R4	H30	R4	R4	H30	R4	R4	ニホンジカについては、鳥獣被害対策実施隊による有害捕獲の強化や電気柵の設置により被害軽減目標を達成することができた。今後も引き続き、実施隊による有害捕獲を推進するとともに、各種事業を活用し、さらなる被害軽減を図る。	ニホンジカを中心とした有害捕獲やその他被害防止対策の推進により、農作物被害を一定程度軽減したと評価できる。	【達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電気柵の設置、生息状況調査及び放牧管理の推進を実施している。合計で見れば、農作物被害金額、被害面積ともに、R4年度の目標を達成しており、被害防止対策の取組が概ね順調に進んでいるものと考えられる。また、近年特にイノシシによる被害も増加している。当該地域では、サル複合対策にも取り組み、生息状況調査や動物位置情報システムの導入を進めているもの。引き続き地元の先進事例等を参考に対策を進めていく必要がある。鳥獣被害対策協議会との連携しながら、効果的な被害防止に努めてほしい。(鳥獣保護課 石川 信重)																												
				②有害捕獲	②ハト・鳩の目撃数…R2:1日 R3:4日 R4:未実施																②ニホンジカ カモシカ ツキノワグマ	556.90	389.80	319.10	142	11.99	8.39	6.99	139																	
				③被害防除	③開墾地域…R2:立根町上土地域 R3:日城市町大森地域及び直生地域 R4:三陸町越前赤松地域																③鳥類	199.90	139.90	46.00	257	1.03	0.72	0.26	248																	
				④シカ等防護網普及事業(単費)	④配布反数…R2: R3: R4: 配布反数 200反 184反 210反 配布人数 128名 184名 128名																④イノシシ	0.10	0.00	3.20	▲3100	0.21	0.00	0.01	95																	
				⑤鳥獣被害防止施設	⑤設置距離…R2: R3: R4: 設置延長 4,750m 2,402m 5,889m																⑤サル	26.70	18.60	46.40	▲243	0.09	0.06	0.04	167																	
				⑥サル複合対策	⑥R2～R4 生息状況調査(生息域調査、頭数調査)及び動物位置情報システムの導入を実施																⑥電気柵(4段)及び複合柵(ワイヤーメッシュ+電気柵)の設置を実施し、被害の減少に繋がった。	0.30	0.20	29.60	▲29300	0.13	0.09	0.19	▲150																	
				⑦生息環境管理	⑦立根町上土地域…R2: R3: R4: 立根町上土地域 67本 21本 日城市町大森地域…12本																⑦カワウ	35.40	24.70	5.70	278	0.51	0.35	0.18	206																	
				⑧意欲ある狩猟者支援事業費補助金(単費)	⑧新規狩猟者への補助件数…R2:1件 R3:3件 R4:0件 既存実施隊員への補助件数…R2:48件 R3:49件 R4:50件																⑧イノシシ	773.40	541.30	190.00	251	13.47	9.42	3.24	253																	
				⑨電気柵資材購入支援事業費補助金(単費)	⑨交付件数…R3:2件 R4:1件																⑨カワウ	75.50	52.80	0.00	333	240kg	168kg	0kg	333																	
				合計																		1,668.20	1,167.30	640.00	205	267.43	187.03	10.91	319																	
陸前高田市鳥獣被害防止対策協議会	陸前高田市	令和2～令和4年度	ニホンジカ カモシカ ツキノワグマ イノシシ サル タヌキ アナグマ スズメ、カラス、カワウ、モグラ、キツネ	①有害捕獲	①ニホンジカ R2:1,123頭 R3:1,053頭 R4:1,087頭 ※上記のうち、わなによる捕獲は R2:389頭 R3:387頭 R4:456頭	⑤陸前高田市・陸前高田市鳥獣被害防止対策協議会	⑤R2～、R3～、R4～	⑤R2～、R3～、R4～	R1	R4	R4	R1	R4	R4	ニホンジカについては、鳥獣被害対策実施隊(以下「実施隊」という。)によるニホンジカの有害捕獲及び鳥獣被害防止総合支援事業等を活用した広域的な電気柵等の設置により、被害面積及び被害金額ともに目標を達成することができた。	鳥獣被害防止対策協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電気柵の設置、有害捕獲及び新規狩猟者支援事業の推進に取り組んでいる。農作物被害金額、被害面積ともに、R4年度の目標を概ね達成しており、被害防止対策の取組が概ね順調に進んでいるものと考えられる。当該地域では、水田等への電気柵の設置が計画的に進められており、このほかの鳥獣被害防止対策も進められているものと考えられる。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。	【達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電気柵の設置、有害捕獲及び新規狩猟者支援事業の推進に取り組んでいる。農作物被害金額、被害面積ともに、R4年度の目標を概ね達成しており、被害防止対策の取組が概ね順調に進んでいるものと考えられる。当該地域では、水田等への電気柵の設置が計画的に進められており、このほかの鳥獣被害防止対策も進められているものと考えられる。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。																													
				②有害捕獲	②ハブ・クサビ・アナグマ・キツネ R2:243頭 R3:262頭 R4:318頭															ニホンジカ	180.80	126.50	97.30	154	6.34	4.43	3.94	126																		
				③有害捕獲	③鳥類 R2:109羽 R3:207羽 R4:169羽															カモシカ	8.70	6.00	6.20	93	0.49	0.34	0.26	153																		
				④有害捕獲	④イノシシ R2:3頭 R3:2頭 R4:2頭															ツキノワグマ	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	-																		
				⑤有害捕獲	⑤ハブ R2:3頭 R3:2頭 R4:2頭															イノシシ	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	-																		
				⑥新規狩猟者取得者数の確保(単費)	⑥R2:34件 R3:34件 R4:46件															サル	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	-																		
				⑦防護網の設置(単費)	⑦R2:365m R3:350m R4:3,925m															ハブ	3.00	2.10	0.70	256	0.12	0.08	0.28	▲400																		
				⑧鳥獣被害防止施設	⑧R2:1,740m R3:2,110m R4:6,066m															キツネ	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	-																		
				合計																	405.30	283.40	311.10	77	11.82	8.25	6.25	156																		
				住田町鳥獣被害防止総合対策協議会	住田町															令和2～令和4年度	ニホンジカ カモシカ ツキノワグマ イノシシ サル タヌキ アナグマ スズメ、カラス、カワウ、モグラ、キツネ	①鳥獣被害防止施設	①R2:3,220m R3:4,000m R4:4,000m	②住田町鳥獣被害防止総合対策協議会	②R2～	R1	R4	R4	R1	R4	R4	R4	鳥獣被害防止施設は農作物被害を軽減するための効果的であるが、未設置の農地への鳥獣の集中、柵の劣化や破損等による被害の減少がみられる。新たにイノシシの被害も報告されており、侵入防止用の管理の徹底や、未設置農地への設置の推進等、農地を持っていくよう支援をしていく。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。	近年、野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある中で、特にニホンジカによる被害が深刻化している。山田町の鳥獣被害対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。	【未達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電気柵の設置、ICT等新技術の活用及び有害捕獲等に取り組んでいる。ハブ、アナグマ、キツネ等の被害も増加している。合計で目標を達成している。当該地域では、サル複合対策にも取り組み、生息状況調査や、野生鳥獣接近警報システムの導入を進めているもの。分析が広域化するなど、被害も増加している。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。											
②有害捕獲	②R2:生息域調査 1群 R3:調査(大型取用)1群 R4:なし	ニホンジカ	250.00			175.00	221.30	38	2.80	2.00	2.50	38																																		
③被害防除	③R2:複合柵技術実証1箇所 R3:研修会の開催 1回 野生サル接近警報システム1箇所 R4:研修会の開催 1回	カモシカ	75.00			52.00	19.00	243	0.60	0.40	0.90	▲150																																		
④サル複合対策	④R3:生息域調査 1群・研修会の開催 1回	ハブ	57.00			40.00	130.00	▲429	1.10	0.80	2.00	▲300																																		
⑤ICT等新技術の活用	⑤R3:わな通知システム R4:動物位置情報システム	アナグマ	12.00			8.00	29.30	▲433	0.30	0.20	0.30	0																																		
⑥鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業有害捕獲	⑥R2:233h R3:38h R4:51h	ツキノワグマ	9.00			6.00	1.60	247	0.20	0.10	0.01	190																																		
合計			502.00			350.00	552.00	▲33	6.00	4.30	7.21	▲71																																		
山田町有害鳥獣被害防止対策協議会	山田町	令和2～令和4年度	ニホンジカ ツキノワグマ カワウ ハブ カラス イノシシ			総合支援事業(有害捕獲)	R2:233h R3:38h R4:51h	山田町有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.3～R4.12～	R3.3～R4.12～	H30	R4	R4	H30	R4	R4	ニホンジカ 緊急捕獲活動や電気柵の設置に取り組んだものの、一定の防除効果は得られなかった。生息域の拡大及び被害の増加が著しく、被害の軽減につながらなかった。引き続き、緊急捕獲活動を強化し、電気柵の設置の推進及び地域ぐるみの被害軽減の取組など、捕獲と環境整備を効果的に組み合わせ被害軽減対策の推進に取り組んでいく。	近年ニホンジカによる農作物被害が著しく、町内での正確な生息数は把握されていないが、生息域及び被害の拡大は顕著である。山田町の鳥獣被害対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。	【未達成】 本協議会では野生鳥獣による農作物被害を低減させるために、電気柵の設置、ICT等新技術の活用及び有害捕獲等に取り組んでいる。山田町の鳥獣被害対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、さらなる被害軽減を図る。																											
						総合支援事業(被害防除)	R4:51h																															ニホンジカ	109.10	76.30	277.90	▲515	2.46	1.72	3.11	▲88
						鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	R2:128h																															カワウ	1.90	1.30	0.00	317	0.05	0.03	0.00	278
				緊急捕獲活動支援事業	R2:128h	ハブ	100.00													70.00	15.00			283	60万匹	42万匹	10万匹	250																		
				合計			219.70													153.60	315.50			▲145	2.67	1.86	3.26	▲73																		

